

せいけん  
詩集

第二十五篇

作：近藤せいけん

「天空に近い村」

山 丹沢に続き 深く

川 清く 流れ 早し

鳥の 鳴き声 常に 響き

宮カ瀬の湖 山上にあり

ふと 見上げる 夜空

星 万面に満つ

天空に近い村 清川

宮カ瀬の 旧小学校

旧村 旧家 旧遊び場

思いでと共に

深く湖底に沈み

歴史をいだいて

村人 穏やかに生きる

天空に近い村 清川